



株式会社 小林太郎鉄工所

2024 年 環境経営レポート

(対象期間： 2024 年1月1日 ～ 2024 年12月31日)



作成日： 2025年2月27日
更新日： 2025年3月08日

目 次

項 目	ページ
I 環境経営方針	3
II 組織の概要	4
III 認証・登録の対象組織・活動	4
IV 事業・製品の紹介	5
V 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	6
VI 主な環境負荷の実績	7
VII 環境経営目標及びその実績	7
VIII 環境経営計画の取組結果とその評価	8~12
IX 次年度（2023年度）の取組内容	13
X 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	13
XI 外部からの環境上の苦情・要請等	13
XII 緊急事態対応の試行・訓練	14~15
XIII 代表者による全体の評価と見直し・指示	16
XIV これまでの環境活動の紹介	17

I 環境経営方針

＜環境経営理念＞

株式会社 小林太郎鉄工所は、金属加工の精密板金加工業を通して、地球温暖化問題や地域の環境活動に自主的・積極的に取り組み、限りある資源と地球環境を大切にします。

社員一丸と成って環境活動に取り組み、安全安心で、効率よく、無駄のない、付加価値のある豊かな社会の実現を目指します。

＜環境保全への行動指針＞

- 1． 企業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全活動の継続的な質の向上に努めます。
- 2． 環境関連の法律・規制などを守り、さらに自主的な行動を持って、一層の環境保全に努めます。
- 3． 省資源・省エネルギー、リサイクル、廃棄物の削減に積極的に取り組みます。
- 4． 環境保全に関する諸活動への参加を通して、社会に貢献します。
- 5． 社内広報活動などにより、環境保全に対する社員一人ひとりの意識向上を図ります。
- 6． 県・市・町における環境活動・セミナー等に参加します。

改定日： 2019年（H31）3月7日

制定日： 2003年（H15）3月4日

代表取締役

小林 輝與彦

II 組織の概要

更新日： 2023年10月01日

(1) 名称及び代表者名

株式会社 小林太郎鉄工所

代表取締役 小林 輝與彦

(2) 所在地

石川県河北郡津幡町太田ア3番2号

(3) 創 業：1948年9月

(4) 資本金：2,000万円

(5) 環境管理責任者氏名及び環境事務局

環境管理責任者 取締役社長 大多 宏和

TEL：076-289-5550

環境事務局 総務課 小林 とも子

TEL：076-289-5550

(6) 事業内容

薄板精密板金加工の製造

(情報端末機器、半導体製造装置、光学機器、医療機器、その他)

(7) 事業の規模

売上高 26,487 万円 (1月～12月実績)

従業員	名	34 名
延べ床面積	m ²	2310 m ²

(8) 事業年度

エコアクション21事業年度(対象期間)： 2024年1月1日～2024年12月31日

会社事業年度(対象期間)： 2024年4月1日～2025年03月31日

III 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 小林太郎鉄工所

認証・登録証

所 在 地： 石川県河北郡津幡町太田ア3番地2

活 動： 金型治具製作、プレス板金加工、筐体・カバー・機能部品の製造・組立

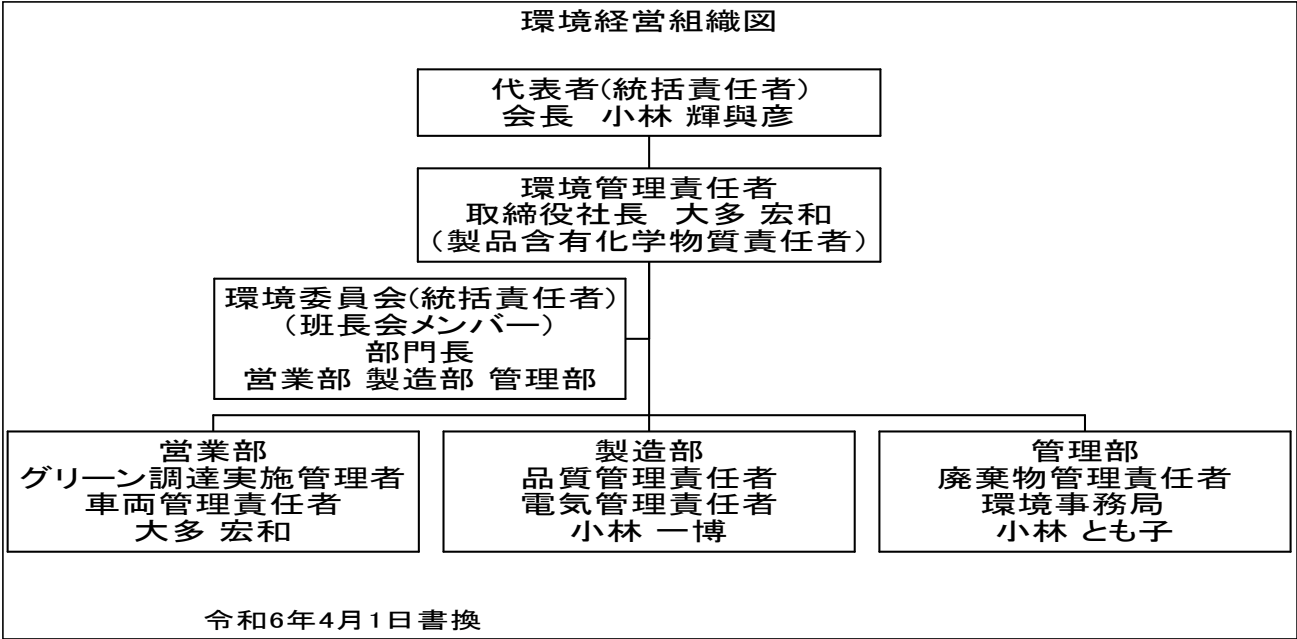
IV 事業・製品の紹介

○ 設備 プレス工程と奥の曲げ工程



○ 加工製品（展示）





	役割・責任・権限
代表者（会長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

Ⅵ 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量(※1)	kg-CO ₂	188,227	159,467	148,662
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	0.945	0.911	0.888
産業廃棄物排出量	トン	80.748	55.900	60.664
総排水量	m ³	572	491	498

※1 二酸化炭素排出係数 0.469 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

Ⅶ 環境経営目標及びその実績

年 度		2021年	2024年 該当年		評 価	2025年	2026年
項 目		基準値 (基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	158,913	154,145	129,171	○	152,557	150,970
	基準年度比	100%	-3.0%	-19.0%		-4.0%	-5.0%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	30,497	29,584	19,491	○	29,276	28,970
	基準年度比	100%	-3.0%	-36.0%		-4.0%	-5.0%
液化石油ガス (LPG) による二酸化炭素削減	kg-CO ₂						
	基準年度比						
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	189,410	183,729	148,662	○	181,833	179,940
一般廃棄物の削減	kg	1,102	1,069	888	○	1,058	1,047
	基準年度比	100%	-3.0%	-19.0%		-4.0%	-5.0%
産業廃棄物の削減	kg	92,154	89,390	60,664	○	88,467	87,550
	基準年度比	100%	-3.0%	-34.0%		-4.0%	-5.0%
水使用量の削減	m ³	556	539	498	○	534	528
	基準年度比	100%	-3.0%	-10.0%		-4.0%	-5.0%
グリーン購入の推進	例年掲げている、品目の拡大を目指し、また、客先から使用する物品の含有される物質の調査報告を行っています。						
環境に配慮した生産活動	ポスター掲示による自己啓発。また、不良発生の低減に努め、資源、時間、電力、労力等のムダを排除する事に努めます。						

環境経営基準年は、2021年とします。

2024年の基準年度比が-3%に成っているのは、2021年を基準年として、毎年1%の削減で算出すると次の通りの削減値 (目標) となります。

2022年-1%の削減 (目標)、2023年-1% (2023年は累計で-2%)、2024年該当年-1% (2024年は累計で-3%)
2025年-1% (2025年は累計で-4%)、2026年-1% (2026年は累計で-5%) です。

自動車燃料による二酸化炭素削減は、基準年の2021年の30,497kg-CO₂を2024年の目標値・実績値とも下回りまわり、内容では目標値は29,582kg-CO₂で実績値は19,491kg-CO₂となり、配送の減少が大きく反映されています。

液化石油ガス (LPG) は、空調機の故障が相次ぎ、2022年には空調機での使用が無くなりました、その後、温水器のみと成り2024年より対象外となりました。

一般廃棄物の削減は、目標値-3%の1,070kgに対して実績値-19%の888kgとなり大きく下回りしました。

産業廃棄物の削減は、目標値-3%の89,390kgに対して実績値-36%の60,664kgとなり同じく大きく下回りしました。

水使用量の削減は、目標値-3%の538m³に対して実績値-10%の498m³となり下回りしました。

化学物質について、その種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、保管場所などを経時的に把握し、記録・管理している記録・管理している。

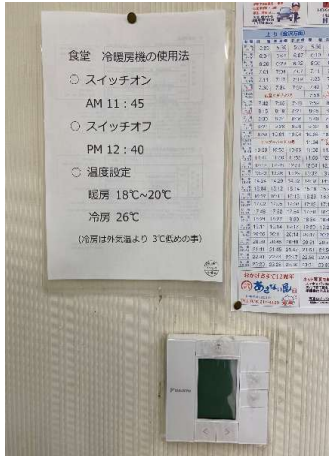
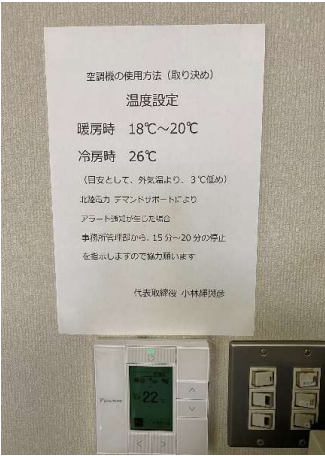
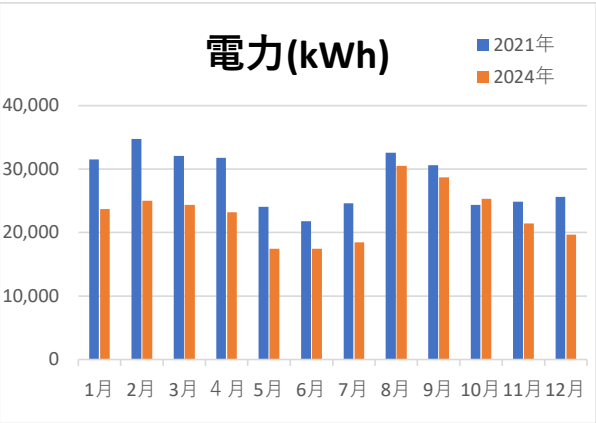
洗浄目標で使用してるので、特に削減目標を設定していない。

Ⅷ 環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

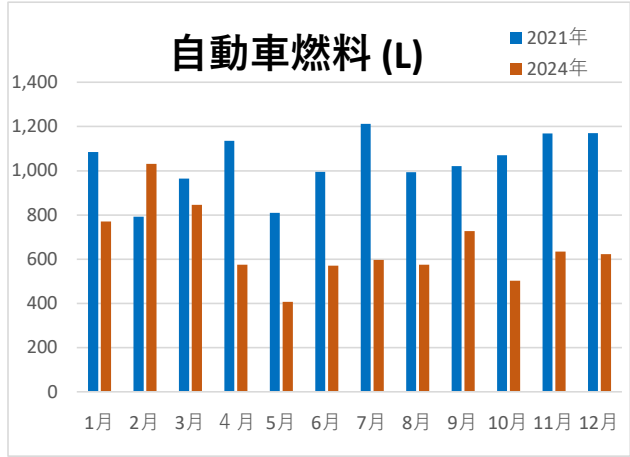
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価	担当責
数値目標	○	基準年（2021年）のCO2排出量は「158,913kg-CO2」です、本年（2024年）のCO2排出量目標削減率は3%で「154,146kg-CO2」の数値となり、CO2排出量実績削減率が18.7%で「129,170kg-CO2」の数値となり多く削減できました。電気料金では基準年（2021年）の費用実績は7,917,402円です、本年（2024年）の費用実績は10,521,137円となり、増減で2,603,735円増えました。ちなみに、前年（2023年）の実績費用は10,251,260円で増減は2,333,858円増えてました、また、前々年（2022年）の実績費用が9,158,472円で増減は1,241,070円増えてました。電気料金は2023年4月から値上がりがありました。地球温暖化で年々災害が多く発生してます少しでも改善出来るよう願います。電力削減率は18.7%で数値目標は可と成りました。	任者
・空調温度の適正化（冷房 28℃ 暖房 20℃）	○		製造部長
・不要照明の消灯	○		
・OA機器等のスイッチはこまめに切る	○		
・昼休み、不在時は必要以外の消灯を徹底する	○		



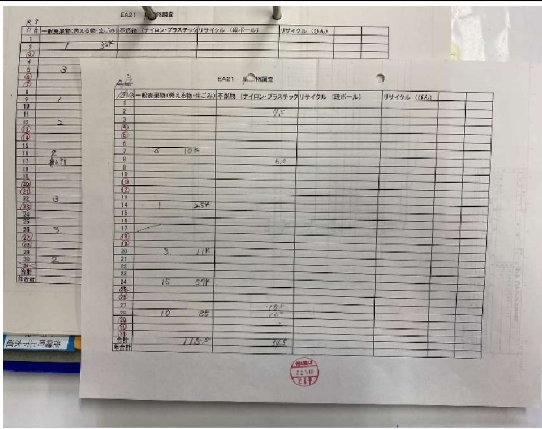
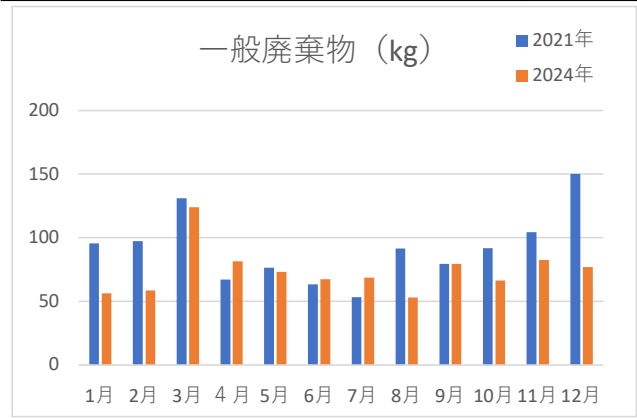
実績値	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	31,560	34,746	32,082	31,782	24,066	21,810	24,642	32,598	30,630	24,366	24,906	25,647
2024年	23,743	25,009	24,403	23,224	17,462	17,424	18,479	30,530	28,723	25,312	21,434	19,673

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価	担当責任者
数値目標	○	基準年（2021年）のCO2排出量は「30,497kg-CO2」で、本年（2024年）CO2排出量の削減率は3%で「29,584kg-CO2」の目標値となります、実績値が「19,491kg-CO2」となり削減率は36.1%多く削減できました。費用では2022年に1,563,270円となり基準年から多くなりましたが、2023年に1,296,469円となり基準年より少なくなり、2024年も993,584円となり基準年から少なくなり成りました。コロナ感染症と弊社の景気が停滞が反映したと思います。燃料削減率は36.1%で数値目標は可と成りました。	営業部長
・ 輸送の効率化：順路の指示、車載車の選定	○		
・ アイドリングストップの意識付け	△		
・ エコドライブに取組（急発進急停車防止）	○		
・ タイヤ空気圧を定期的にチェックし燃費の向上に努める	△		



実績値	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	1,085	793	965	1,137	811	995	1,213	994	1,022	1,070	1,168	1,171
2024年	770	1,032	846	575	408	571	597	575	728	502	635	623

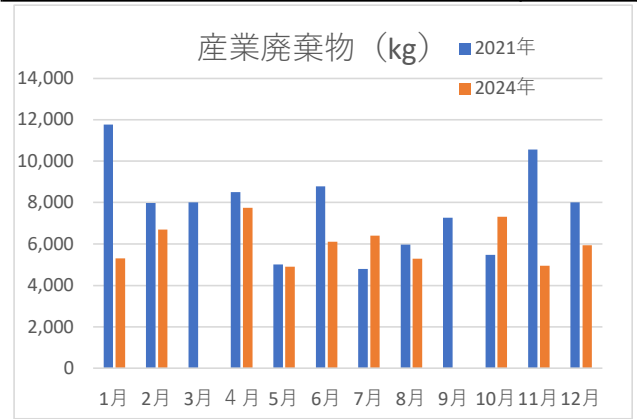
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価	担当責任者
数値目標	○	基準年（2021年）の一般廃棄物は「1,101.9kg」から、本年（2024年）の削減率3%で「1,068.9kg」の数値目標となり、実績値は「888.0kg」となり基準年からの実績削減率は、19.4%多く削減でき、数値目標は可と成りました。	環境事務局
・軍手等は洗濯リサイクルし新規購入を減らす	○		
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○		
・梱包材の再利用	○		
・分別の徹底	○		



実績値	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	96	98	131	67	77	64	54	92	79	92	105	150
2024年	57	59	124	82	73	68	69	53	80	67	83	77

一般廃棄物（特別管理）	達成状況	取組結果とその評価	担当責任者
数値目標			環境事務局
この項目は数値目標などの設定はしていない			

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価	責任者
数値目標	○	基準年（2021年）の92,154kgから、本年（2024年）の削減率は3%で、目標値は89,390kgとなり、実績削減率は36.2%で実績値では「60,664kg」となりました。本年目標値の削減率は36.2%となり数値目標では可と成りました。	製造部長
・作業ミスによる廃棄量の削減	○		
・素材別ボックスの設置	○		

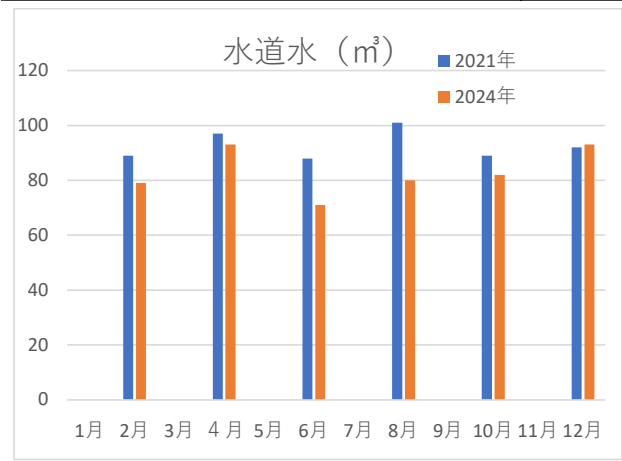


実績値	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	11,770	7,980	8,020	8,510	5,010	8,784	4,800	5,970	7,270	5,470	10,570	8,000
2024年	5,300	6,710		7,754	4,900	6,110	6,410	5,290		7,310	4,940	5,940



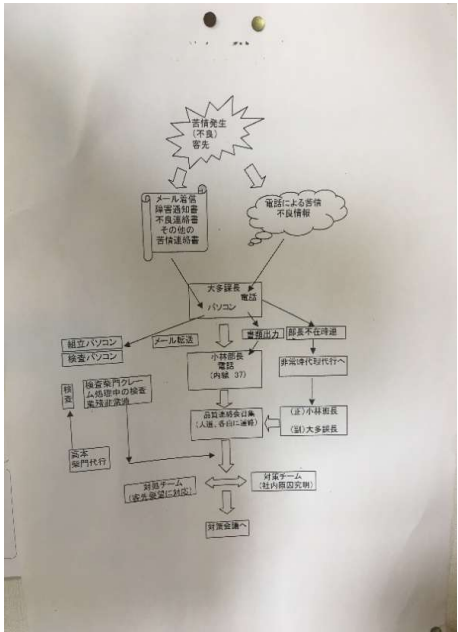
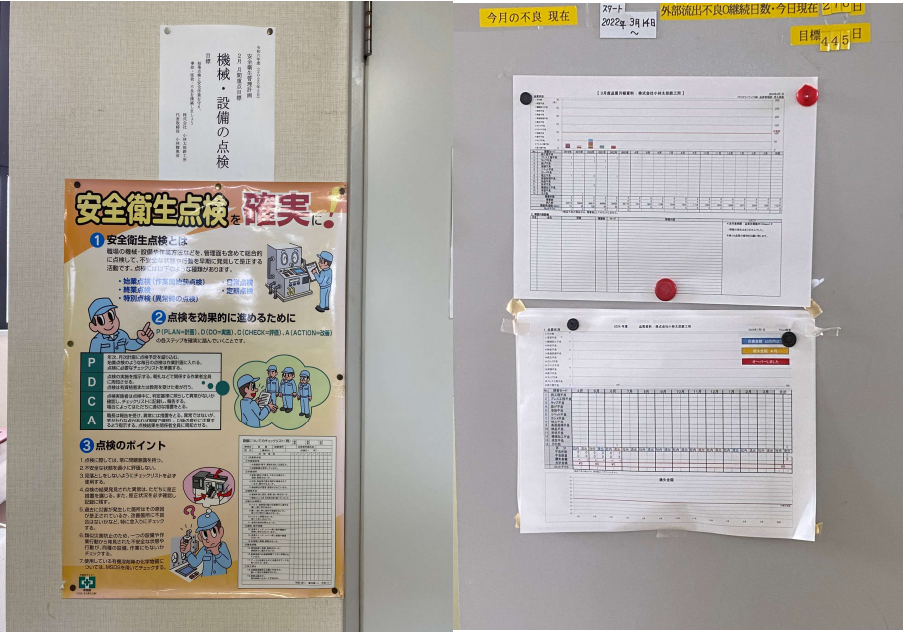
産業廃棄物（特別管理）	達成状況	取組結果とその評価	責任者
数値目標		産業廃棄物（特別管理）は、3月11日に業務用エアコン及び付属部品、7台分とその他業務用パソコン等を「(株)やまと商事」に、フロン回収を含めた業務を依頼した。マニフェストは環境事務局で保管している。費用は「(株)やまと商事」廃材購入分447,832円からフロン等処理代220,440円を差し引いた清算額227,392円を受け取った。	環境事務局
この項目は数値目標などの設定はしていない			

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価	担当責任者
数値目標	○	基準年（2021年）の556㎡から、本年（2024年）の削減率は3%	担当者
・他の蛇口も漏水をこまめに確認をする	○	で、目標値は539㎡となり、実績削減率は10.4%で実績値は498㎡	環境事務局
・自動水栓取り付け	○	となりました。本年目標値の削減率は10.4%となり数値目標では可	
・工業用水は循環槽により冷却を行う	○	と成りました。なお、工業用水は会社敷地内に工業用水の水槽を設置し、作業現場に循環しています。	



実績値	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年		89		97		88		101		89		92
2024年		79		93		71		80		82		93

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価	責任者
・ポスター掲示による自己啓発	○	毎月の安全衛生管理計画とポスターを掲示しています、また、不良	環境事務局
・不良発生状況の提示	○	発生状況を表示し、社員に啓発をして居ます。	
・不良発生時の流れを明示	○		



IX 次年度（2025年度）の取組内容

2025年度の取組目標を達成する為の、2024年度の取組内容を継続する

X 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物
騒音規制法	プレス加工機、サンダー研磨機、空気圧縮機
振動規制法	プレス加工機、空気圧縮機
じん肺法	サンダー研磨機、溶接機
溶接ヒューム（マンガン）	溶接機
chemSHERPA（*）	顧客要求事項 RoHS REACH PFOS SDS

（*）chemSHERPAは、RoHS、REACH、PFOS、SDSは、AISツールから2018年6月29日に移行され管理している。

○環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

○大和環境分析センターで、「マスクフィットテスト」を6月5日に実施、溶接組立部門の4名が受験者で合格した。

○令和4年10月10日に「じん肺」・「溶接ヒューム」の健康診断を地域医療金沢病院で実施した。

XI 外部からの環境上の苦情・要請等

○外部からの環境上の苦情・要請等はありませんでした。

XII 緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 洗浄液の給油中に液漏れが発生

■実施日： 2024年9月9日

■実施場所： 洗浄室

■参加者： 社員全員
(コロナ対策で3班に分け実施)

■実施内容： 洗浄液の給油中に液漏れが発生、洗浄液（NSクリーン）ドラム缶及び給水ポンプ、給水シートの設置場所等を確認

■評価： 環境上の緊急事態の訓練で給油中の動作の説明と液漏れ発生時の給水シートの設置場所を指示確認した
緊急事態の想定

- ① 洗浄液の入ったドラム缶の配置場所
- ② 送水ポンプと油槽の間隔
- ③ ①、②の状態による液漏れを説明
- ④ 吸水マットの設置場所を説明
- ⑤ 使用後のマット類の処理方法を説明



洗浄室集合



洗浄液の注入

■勉強会

2023年 環境経営レポートの内容を説明



吸水マットの説明



集会室（食堂）にて

工場敷地・公道清掃を実施

■実施日： 2024年9月22日 (9日雨天の為22日実施)

■参加者： 社員全員



正面玄関前に集合



工場敷地



公道清掃



XIII 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2025年2月10日

<情 報>	<見直し・指示>
◇自社を取り巻く環境問題の変化 2024年1月1月午後4時10分ごろ、能登半島で最大震度7を観測する大地震が発生しました、津幡町は、かほく市内灘町と同じく能登の入口にあたります。工場は津幡町に位置してます、大きな損壊は無く、2階の壁面に立て掛けてあった扉が倒れ、掲示物の落下とひび割れが生じました、倉庫では外側の壁面が一部落下しました。工業用水の水槽や洗浄機の洗浄液の漏れは無く環境への大きな問題はありませんでした。	◇環境経営方針 環境経営方針は2019年3月7日に改訂し、今日に至っています。
◇環境経営目標・計画の達成状況 2024年の「環境経営目標及びその実績」で公表した通り以下の通りと成りました。 ○二酸化炭素排出量合計では目標値「183,729kg-CO2」で、実績値「148,662kg-CO2」となり「35,067kg-CO2」排出量が減りました。 ○一般廃棄物の削減では目標値「1,069kg」で実績値「888kg」となり「181kg」減りました。また、特別管理ではパソコン本体と液晶ディスプレイを金沢市西部環境エネルギーセンター向かいの資源搬入ステーションへ「無料」で持込しました。 ○産業廃棄物の削減では目標値「89.4 t」で実績値「58.8」となり「30.6 t」減りました。また、特別管理では業務用エアコン7台を3月に(株)やまと商事にフロン回収を含めた処理業務を依頼し、フロンマニフェストは環境事務局で保管している。 費用はやまと商事が支払明細書「447,832円」でフロン回収及び経費「220,440円」を差引相殺額「227,392円」と成り小林太郎鉄工所が受領した。 ○水道水の削減では目標値「539㎡」で、実績値「498㎡」となり「41㎡」増えました。 ○グリーン購入の推進は例年掲げているように、品目の拡大を目指し、客先から使用する物品の含有される物質の調査報告を行っています。 ○環境に配慮した生産活動は、ポスター掲示による自己啓発、不良発生の低減に努め、資源、時間、電力、労力等のムダを排除する事に努めます。	◇環境経営目標・環境経営計画 環境経営の数値目標は、2019年より見直し毎年1%の低減としています。 環境活動やセミナー等は参加を実施する様に致します。
◇その他 大和環境分析センターで、「粉じん」作業環境測定結果報告書（証明書）を6月5日に実施、報告書を6月21日付けで入手。「マスクフィットテスト結果報告書」を6月5日に実施、溶接組立部門の4名が受験者で合格した。じん肺健康診断実施と特殊健康診断(溶接ヒューム)実施を10月10日に地域医療金沢病院で受診しました。受診した健康診断結果報告書を11月14日に提出先：石川労働局、金沢労働基準監督署へ届出しました。	◇実施体制他 環境経営組織図及び役割・責任・権限は変更はありませんが、営業部のグリーン調達実施管理者・車両管理責任者は該当部長が部長職を解任した為、環境管理責任者の取締役社長大多宏和が兼務した。
・環境上の問題点等 1月1日に発生した能登半島地震で半島の北部で海が陸地になったり、沿岸に岩礁が出来るなど地形や海の変化して居ます。また、災害による廃棄物対策で1.生活ごみ処理（し尿処理・日常生活ごみ処理） 2.災害廃棄物撤去（家屋解体ごみ等の撤去・仮置場） 3.災害廃棄物処理（周辺自治体や民間事業者による受入）で国や自治体に対応に追われている。	

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☐ 変更なし	☒ 変更あり

XIV これまでの環境活動の紹介

1、活動記録

日 程	内容及び対象者
2024年（令和6年）	
1月	・環境管理委員会 工場巡視
2月	・環境管理委員会 工場巡視
3月	・環境管理委員会 工場巡視 11日、業務用エアコン及び付属部品、7台分を「(株)やまと商事」に、フロン回収を含めた業務を依頼した。
4月	・環境管理委員会 工場巡視
5月	・環境管理委員会 工場巡視
6月	・環境管理委員会 工場巡視 5日、溶接組立場の作業環境測定を実施 あわせて、呼吸用保護具「フィットテスト」を実施 28日、令和6年度第1回グリーンファイナンスセミナー
7月	・環境管理委員会 工場巡視
8月	・環境管理委員会 工場巡視
9月	・環境管理委員会 工場巡視 EA21活動 9日 雨天により、勉強会・緊急事態の訓練のみを実施 ○EA21勉強会（2023年環境レポートの内容説明） ○勉強会（品質月報 前年及び、近況の実績報告） ○緊急事態の訓練（洗浄液の給油中に液漏れを想定） EA21活動 雨天により22日、工場敷地・公道清掃を実施 ○公道清掃（可燃・不燃・金属に分別）回収物は津幡町が引取 ○構内清掃（雑草・側溝の泥上げ等） 26日、令和6年度第2回グリーンファイナンスセミナー
10月	・環境管理委員会 工場巡視 10日 健康管理センター(地域医療機能推進機構金沢病院)による健康診断を実施 上記にあわせて、じん肺・溶接ヒュームを4名受診
11月	・環境管理委員会 工場巡視
12月	・環境管理委員会 工場巡視